

区医だより

発行●浪速区医師会 編集●広報部

巻 頭 言

男 達 の 挽 歌

福 永 真 也

(福永クリニック 院長)

僕が浪速区医師会に加入して、確か3回目の原稿依頼かと思います。記憶が合っていれば、1回目は自分のこと、2回目は音楽のことなど書かせていただいたかと思います。昨年より理事となり、今まで以上に医師会に足を運ぶことも増えたため、今回は理事となったことに関して、諸先輩方の苦労や医師会の今後について、少し真面目に原稿を書こうかと思いました。しかし、やっぱりキャラではないので、全然違う話を書くことをお許しく下さい。

僕は今大変興奮しています。現在3月17日で、この原稿は4月20日締め切りなので、かなり早く書いております。現在WBCで熱戦が繰り広げられ、日本が全勝で2次ラウンドを突破しました。この原稿が皆様の目に届くころには、きっと日本がワールドチャンピオンとなり、歓喜に日本中が湧いたことでしょう。野球好きの私としては、このWBCについて、山田、菊池、筒香、千賀や大好きな阪神からの唯一選ばれた藤浪の活躍などを書こうかと思っておりましたが、さらに興奮することがありましたので、そのことについて書こうかと思います。女性の方は全く興味ないと思います。男性でもあまり興味がないという方もたくさんいると思いますが、どう

ぞお付き合いください。

WBCでオランダとの熱戦において、延長の末日本が大勝利という魂が揺さぶられる出来事がありました。その次の番組で、「史上初！現役・OBレスラー200人&ファン1万人が選ぶプロレス総選挙」という番組が放映されました。野球の延長もあって、深夜となったテレビ番組にも関わらず、視聴率も5%弱と衰えないプロレス人気に嬉しく思いました。自分は野球やラグビーなども当然好きなのですが、プロレスも大大大好きなのであります。自分が子どもの頃には、金曜日の夜は新日本プロレスを、土曜の夕方は全日本プロレスでテレビにかじりつき、翌日その技を友人とかけあった世代であります。猪木の延髄、ブッチャーの流血、タイガーマスクの4次元殺法、そして動け馬場。色々な名シーンを思い出します。そんな自分が、この番組タイトルを見たとき、震えるような期待感を有することは、当然かも知れません。一体誰が選ばれるのか、猪木や馬場は絶対的存在として、上位20人という狭き門を、誰が通過するかとワクワクして見ておりました。ご覧になってない方もおられるかと思いますが、ベスト10だけ書かせてもらいます。1位猪木、2位馬場、3位初代タイガーマスク、4位オカ

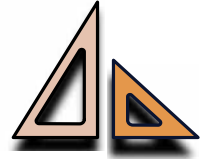


ダ・カズチカ、5位力道山、6位棚橋、7位鶴田、8位サンダーライガー、9位三沢、10位スタン・ハンセン、どれも新旧入り混じった素晴らしいレスラーばかりでした。自分の意見としては、やはり最強のレスラーであるプロディは入ってほしかったです。しかし、2時間ではもったいない位、素晴らしい番組で、ハンセンが登場し、ロングホーンを叫んだ時は興奮が最高潮でありました。また番組以上に感動したのは、翌日にネットでこの話題について賛否両論の意見が交わされたことです。あいつが入っていないや、新旧別々にランキングするべきなどの否定的な話とともに、ファン投票だからあの順位に納得だなど、賛成の意見もありました。そのことより、自分が子どもから10代位まで、毎日行われていたプロレス談義を2017年現在行われていることに、非常に感動しました。自分と同世代のプロレスブームで湧いた人や、現在一時低迷していたプロレス人気を再度盛り上げている若い世代の人が、プロレスというキーワードで、同じレベルで話していることが嬉しくて仕方ありません。今も昔もプロレス談義の熱さは、変わっていないだと、改めてプロレスと言うエンターテインメントの凄さを、感じました。

男性はどこかで、強くなりたい願望を持っていると思います。あんなデカイ体を駆使して戦う姿は、子どもの頃の自分にとって憧れでした。プロレスこそ最強と思い込んで、ミルコに藤田が負けたときは、涙したものです。(自分的には負けたとは、思っていませんが)草食系男子だとか、中性男子などと言われる時代ですが、戦う男達の姿は、プロレスでも野球においても、いつも格好良いもんだと、改めて感じる今日この頃です。順位など関係なく、選ばれた人もそうでない人も、みんな素晴らしい漢達だと心から尊敬して、この文章を締めくくらせていただきます。

でもやっぱり、プロディは選ばれて欲しかったなあ。(涙)

理事会報告



◎平成29年度4月定例理事会

日 時 平成29年4月28日〈金〉
午後8時～

場 所 浪速区医師会 会議室

協議事項

1. 8月度理事会開催日程について

＜澤井会長＞

8月19日〈土〉開催予定の日程を変更したい。

協議の結果、了承。

8月26日〈土〉午後5時から理事会、
午後6時から食事会とする。

場所は未定（庶務担当が調整する）。

2. 大阪市学校保健会の代議員選出（2名）について

＜澤井会長＞

府医より、標記代議員選出の依頼があった。

協議の結果、学校保健担当理事（中村理事・川田理事）を選出することに決定。
任期は、大阪市学校保健会総会（6月か7月開催予定）から2年とのこと。

3. 大阪市がん診療ネットワーク協議会の運営体制にかかるアンケート調査について

＜久保田副会長＞

標記アンケート調査を資料のとおり回答する。

協議の結果、了承。

4. 29年度レクリエーション（10月28日〈土〉～29日〈日〉1泊旅行）について

＜川田理事＞

参加費用を決めたい。

協議の結果、次のとおり決定。

会員 20,000 円 家族 22,000 円 子供
料金未定

5. 平成 28 年度決算・事業報告（公益目的支出計画実施報告書）について

＜山田理事＞

資料に沿って検討の結果、提案どおり決定。

6. 定時総会（5 月 25 日〈木〉）の開催・役割分担について

＜山田理事＞

役割は次のとおり、決定。

事業報告 山田理事、事業計画 久保
田副会長、予算決算 木田理事。

7. 大阪市大病院医療連携 Face-To-Face の会の世話人について

＜佐久間監事＞

標記世話人 1 名を新しく選出したい。佐久間監事は継続する。

Face to Face の会とは、次のとおり。

会議名称：Face to Face の会世話人会

本会の目的：地域医療連携の強化ならびに症例検討を通じて最新治療の情報発信を行う。

会世話人会の目的：地域医療連携の推進および検討、意見交換を目的とする。

構成メンバー：

外部世話人 近隣医師会の代表者（現在）
浪速区、阿倍野区、住吉区、
東住吉区、住之江区、平野
区、西成区

天王寺区、生野区、大正区、
中央区南、中央区東、

内部世話人 患者総合支援センター長
（平田副院長）

各診療科教授及び代理

患者支援課担当者

開催等：回数 年 3 回（6 月、11 月、2 月）

場所 大阪市大病院もしくは隣接
の医学部学舎

時間 14：00～15：00

（その後 15：00～17：00 まで

Face to Face の会本会）

任期：1 年（今年度は、平成 29 年 4 月 1
日～30 年 3 月 31 日）

協議の結果、木田理事を選出すること
となった。

8. その他

なし。

報告事項

1. 郡市区等医師会長協議会について

（4 月 28 日〈金〉）

＜澤井会長＞

次第は次のとおり。

▷開会

▷会長挨拶

▷報告事項

- (1) 第 139 回日医臨時代議員会（3 月 26
日）報告の件

▷連絡事項

- (1) 平成 29 年度予防接種副反応状況調査
の件

- (2) 保険医療機関における施設基準届出事
項の点検の件

- (3) 平成 29 年度大規模地震時医療活動訓
練の件

- (4) 5 月度行事・会合日程の件

▷協議

▷閉会

（詳細 略）

2. 大阪市医師会連合会委員会について

（4 月 17 日〈月〉）

＜澤井会長＞

次第は次のとおり。

▷協議事項

- (1) 平成 29 年度会議日程（変更）の件

▷連絡事項

- (1) 平成 29 年度生活ガイドブック「大阪
市くらしの便利帳」の発行にかかる協
力依頼の件

- (2) 平成 29 年度大阪市予防接種委託料の件

- (3) 大阪市風しんワクチン接種費用助成事業・B型肝炎ワクチン接種費用助成事業協力依頼の件
- (4) 大阪市胃がん検診(胃内視鏡検査)の取り扱い並びに研修会開催の件
- ▷報告事項
- (1) 大阪市社会福祉審議会 高齢者福祉専門分科会(3月21日)報告の件
- (2) 大阪府医療審議会(3月29日)報告の件
- (3) 大阪市在宅医療・介護連携推進会議(3月30日)報告の件
- (4) 大阪市社会福祉審議会総会(3月31日)報告の件
- (詳細 略)
3. 在宅連携合同協議会について
(4月12日<水>) <久保田副会長>
次第は次のとおり。
▷各団体からの在宅連携を含む現状報告
▷Aケアカードシステムに対する意見交換
▷登録患者の適用について
▷管理工学研究所からの現状報告
▷その他
- (詳細 略)
4. 浪速区在宅医療・介護連携推進会議について
(4月19日<水>) <橋村理事>
次第は次のとおり。
▷在宅医療関係先リストの更新について
▷高齢者等在宅医療・介護連携に関する相談事業について
▷その他
- (詳細 略)
5. 定期地域ケア会議について
(4月20日<木>) <橋村理事>
次第は次のとおり。
▷28年度随時地域ケア会議および相談実績報告
▷浪速区の地区診断について
▷浪速区の社会資源共有～Part 1～
- (詳細 略)
6. 決算委員会について
(4月10日<月>) <山田理事>
「協議5」参照。
7. 病診連携委員会について
(3月27日<月>) <入野理事>
次第は次のとおり。
▷第79病診連携委員会報告について
▷連携病院へのアンケート結果について
▷本会の在宅医療連携の現状について
▷その他
- (詳細 略)
8. 改正道路交通法の施行に伴う高齢運転者への診断書作成にかかる説明会について
(4月14日<金>) <山田理事>
大阪府警交通課による標記説明会を行った。
参加者数は、会員16名、医療従事者5名の計21名であった。
- (詳細 略)
9. 医療問題研究委員会について
(4月12日<水>) <福永理事>
次のテーマに沿って意見交換を行った。
テーマ 「医の倫理を考える」
- (詳細 略)
10. 会計監査について
(4月17日<月>) <竹中監事>
「協議5」参照。
11. その他
なし。
- 次回理事会
平成29年5月26日<金> 午後8時～



4月度 学術講演会報告

日 時 4月15日(土) 午後2時
演 題 皮膚アレルギー疾患の診断と治療
講 師 淀川キリスト教病院
皮膚科 部長 中村 敬 先生
出席者数 19名
共 催 杏林製薬株式会社
情報提供 デザレックス錠 5mg
担 当 富永良子

アトピー性皮膚炎今昔物語

1923年にCocaが、遺伝的に花粉症や気管支喘息を有し、IgE抗体を産生しやすい体質を持つ状態を“アトピー”“アトピー素因”と定義した。1933年にSulzbergerによりアトピーの概念に基づいて発症する湿疹をアトピー性皮膚炎と呼称した。当時は、アトピー性皮膚炎の病態を、喘息や花粉症と同じように、IgE抗体が食物やダニ・ほこりなどが体内や皮膚に付いた時、それらが抗原に反応してアレルギーとして皮膚炎が生じるものと考えられていた。

IgEとは免疫タンパクの一種で、本来からだを守るものである。元来寄生虫を標的にしていたが、現在は寄生虫が減っているため卵白・牛乳などの食物、ダニ・花粉などの物質に反応し、体外に出そうとして攻撃する。その結果、気管支喘息、花粉症、じんましんなどを引き起こす。反応する相手を検査するのがRAST(radioallergosorbent test)である。

アトピー性皮膚炎の定義は、増悪・寛解を繰り返す掻痒のある湿疹を主病変とする疾患であり、患者の多くはアトピー素因をもつとされる。診断の参考項目として、血清IgE値の上昇がある。

21世紀になると、アトピー性皮膚炎に関連す

るいくつかの遺伝子(フィラグリン遺伝子やヤススキナーゼ1分子の遺伝子配列など)の異常が発見された。以上より、アトピー性皮膚炎は、皮膚のバリア機能の異常とその免疫細胞の過敏状態が主体であり、アレルギーではなく不特定のものに過敏に反応する状態と考えられる。その機能障害は思春期頃には是正されるが、一部成人に移行する。アトピー性皮膚炎は皮膚バリア機能の何らかの遺伝的な異常をもつ病態の集合であるため、皮膚からアレルゲンが入りやすい状態であり、IgEが産生される。IgE値が高いのは、結果であり原因ではない。今のところ、アトピー性皮膚炎はアレルギー疾患ではなく、皮膚のバリア機能の異常が主たる病因であろうとされている。

治療について

1950年より以前は乾燥肌に対する油脂性軟膏による保湿、亜鉛華軟膏による保護など、炎症を抑制する有効な方法が無かった。乳児期の重症例は浸出液を止める手段がなく、低栄養や感染により死亡に至る例もあった(湿疹死)。

1950年代にステロイド外用剤が作られ、小児のアトピー性皮膚炎に使用され始めた。これにより湿疹死は無くなった。1970年代には成人アトピー性皮膚炎が増加し始め、1980年代にはステロイド無効の成人例やステロイド訴訟が起きるようになった。1991年に淀川キリスト教病院でステロイド離脱により症状の改善を学会に報告し、“脱ステロイド”という言葉が流行した。

しかし、ステロイドに対する誤解を招いたため、脱ステロイドという言葉は使用しなくなった。

2008年に免疫抑制剤であるシクロスポリンが保険適応になった。現在の一般的な治療として、保湿剤は油脂製剤、尿素製剤、ヘパリン類似物質などの天然保湿因子、セラミドの補充など。特殊治療として紫外線照射がある。2016年版のガイドラインでは、臨床現場での最終的な判断は、主治医が患者の価値観や治

療に対する希望を十分に反映して患者と協働して行わねばならないとされている。淀川キリスト教病院での治療は、症状を緩和するためにステロイド外用やステロイドの内服も免疫抑制剤も使用する。

乳児期湿疹はステロイド外用をしなくても寛解する。ステロイドを使用しなければ、ステロイド使用による依存の長期化を防ぐことができる症例が多い。しかし寛解に約6ヶ月かかり、低栄養や感染に対処する努力が必要である。

成人のアトピー性皮膚炎に至るのは3～4割程度である。遺伝子素因の変化は考えにくい。食事・睡眠・ストレスなどが増悪因子と考えられる。皮膚炎症状を保湿剤や止痒剤、抗アレルギー剤、安定剤などで緩和し、増悪因子である食事・睡眠・ストレスのコントロールを行う。

6 月度学術講演会のお知らせ

6 月の浪速区医師会講演会の内容は下記のとおりです。

多数の先生方の参加をお待ちいたします。

日時：平成 29 年 6 月 17 日(土)

午後 2 時～4 時

場所：一般社団法人浪速区医師会 会議室

演題：「ガイドラインに基づく疼痛治療について」

講師：神戸大学大学院医学研究科

麻酔科学 准教授

高雄 由美子 先生

本勉強会は、大阪府医師会生涯研修システムの対象となっておりますので、生涯教育チケットの持参をお願いいたします。

浪速区在宅医療・介護連携相談支援室 開設のお知らせ

平成 29 年 4 月 1 日より、医療機関や介護関係者の各種サービスに関する相談窓口として、「浪速区在宅医療・介護連携相談支援室」を開設しました。この事業は、高齢者などが疾病を抱え、医療と介護の両方を必要とする状態になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、医療関係者・介護関係者の連携を支援し、医療と介護が切れ目なく提供できる制度の構築推進を目的としています。浪速区医師会が、大阪市より委託を受け、医療と介護の関係機関や多職種連携を推進し、市民の在宅療養生活を支援します。

医療機関が、介護支援を必要とする患者さんに相談を受けた場合、介護事業所が医療に関する相談を受けた場合に当支援室をご利用いただければ、的確な介護、医療機関を紹介いたします。円滑に介護と医療の連携を推進したいと思います。ぜひご利用をお願いいたします。

相談受理実績

■ 個別ケースに関する相談 (H29. 4 月度)

① 医科	0 件
② 歯科	0 件
③ 薬局・薬剤師	0 件
④ 病院 地域連携相談室	0 件
⑤ 訪問看護	0 件
⑥ 介護支援専門員	0 件
⑦ 地域包括支援センター	3 件
⑧ ⑥⑦以外の介護関係事業所	0 件
⑨ 認知症初期集中支援チーム	0 件
⑩ 他区在宅医療・介護連携支援室	0 件
⑪ 区役所・保健福祉センター	0 件
⑫ 区民	0 件
⑬ その他 ()	0 件
合 計	3 件

■ 相談内訳（重複有）

① 医 療	① 診療所・医師に関して	0 件
	② 訪問診療できる医療機関に関して	1 件
	③ 病院（入院・転院先等）に関して	2 件
	④ 歯科に関して	0 件
	⑤ 薬局・薬剤師に関して	0 件
	⑥ 訪問看護に関して	0 件
	⑦ 医療の手続きに関して	0 件
	⑧ その他	0 件
② 介 護	① ケアマネに関して	0 件
	② 地域包括支援センターに関して	0 件
	③ 介護事業所等に関して	0 件
	④ 介護の手続きに関して	0 件
	⑤ その他	0 件
③ 退院支援に関して		1 件
④ 看取りに関して		0 件
⑤ その他（内容： ）		0 件
合 計		4 件

＜お問合せ＞ 浪速区在宅医療・介護連携相談支援室
〒556-0022 大阪市浪速区川 4-11-16 アリタビル 50B
TEL:070-1760-4964 FAX:06-6567-8058



ドクターのあらゆる要望にお応えします。



大阪府医師協同組合
<http://www.omca.or.jp>

【本 部】大阪市中央区上本町西 3-1-5 〒542-8580
TEL 06-6768-2071（代） FAX 06-6768-2012
【南部出張所】堺市堺区甲斐町東 3-2-26 堺市医師会館 1F 〒590-0953
TEL 072-223-6081（代） FAX 072-223-5094

この他にも、さまざまな事業を展開しています。
詳しくは

浪速区医師会 活動の伝言板

平成 29 年 6 月の各業務の出務予定は次のとおりです。ご協力のほどよろしくお願いたします。

3歳児健康診査

●保健福祉センター

6 月 22 日（木）午後 1 時 40 分～ 3 時 30 分

小児科 川田 信哉・橋村夏野子

眼 科 吉野 成泰

耳鼻科 大野 聡史

B C G 接 種

●保健福祉センター

6 月 15 日（木）午後 2 時～ 3 時 30 分

工藤俊次郎・橋村夏野子

急病診療所出務

●中央急病診療所

6 月 25 日（日）深夜 22：00 ～ 30：00

福永 真也



医 業

医療機器、医療消耗品からクリニック開業支援まで、医療に関する幅広いサポートを行っています。また、豊富な経験を持つ専門家による相談会も実施。

- 医療用品通販カタログ「GooDs」
- 医療機器のリース・無金利分割販売
- 最新医療機器展示会、セミナー・実技講習会



く ら し

趣味や教養を深めるイベントから旅行、住まいのご相談まで、皆様のプライベートを応援。

- JAPAN DOCTOR'S CARD
- 書籍販売サイト「KNOWLEDGE WORKER」
- ドクターズツアー・パッケージツアーの割引特典
- イベント・各種セミナーの開催



保 険

医療とくらしを取り巻くさまざまなリスクに備え、充実のラインナップをご用意しております。スケールメリットを活かした割安な掛け金で、万一の事態に備えることができます。

- 損害保険・生命保険（団体割引有）



あとがき

藤吉 理夫

皆さんはGW いかがおすごしでしたでしょうか。今年は天候に恵まれ楽しいGW になったことと思います。

・福永先生の巻頭言、WBC は残念ながら優勝できませんでしたが毎試合ワクワクしました。第2回目のWBC でイチローが最後にヒットを打った場面は今でも覚えています。感動でしたね。

続いてプロレスの話、小学校の頃を思い出しました。サンダー杉山、ラッシャー木村、ストロング小林、ボボ・ブラジル、吉村道明、結構名前を覚えています。何と言ってもその頃のヒーローはビル・ロビンソン、決め技は人間風車でした。砂場で友人と掛け合いましたが、今ならイジメとか危ないとかできないですね。今またプロレスが盛り上がっているとは知りませんでした。格闘技は男性の気持ちを盛り上げますね。

・先日、東京のある会社から遠隔診療のソフトについて電話がありました。私は勉強不足で遠隔診療は離島や山間などにお住いの患者さんのためのものと思っていました。安倍首相が進めている遠隔診療は普通に通院できる人でも症状が安定していたら対象になっています。患者さんとはスマホ、タブレットなどでテレビ電話のように相手を診察するのです。

ええ？、対面診察せずに処方していいの？ いーんです。えらく変わったものです。確かに病状が落ち着いている高血圧や高コレステロール血症の方などは遠隔診療も有りかと思いましたが。ただ今のところは外来管理加算と慢性疾患指導料は算定できないので、その会社が言うには予約料として1500～2000円算定するのだそうです。支払いはクレジットカードでソフト会社を経由して手数料を引かれて入金されます。

来年の改定では遠隔診療を積極的に進める

とのこと。これが広がれば保険請求額は減るので医療費削減になりますが、ソフト会社丸儲け、医療機関は単価が減るから薄利多売しないといけなくなりますね。

・当医院PC が末期状態になってきました。10年以上使ってるのがあります。先日WindowsXP のPC がパチンとって焦げ臭くなりダウンしました。変なウイルスも流行ってるようだし、早く変えないといけなくてですね。

・A ケアカードを使い始めている先生方、使い勝手はいかがでしょうか。診察中に他院の血液検査結果や処方内容を見ることはまだ十分にできていませんが、ケアマネとの連絡がスムーズになっていると感じます。

最初は手間が少しかかりますが徐々に登録を増やしましょう。



目次	ページ
巻頭言	
男達の挽歌	福永 真也 1
理事会報告（4月開催）	2
4月度学術報告	富永 良子 5
6月度学術講演会のお知らせ	6
浪速区医師会活動の伝言板	7
あとがき	8

【区医だより】

発行者 澤井貞子
編集者 中村泰久 山田郁子
印刷所 株式会社 サ ビ